

学術研究に関するお知らせ

侵襲性トリコスポロン症に関する国際的多施設共同後方視的調査研究に関するお知らせ

侵襲性トリコスポロン症は、死亡率の高い真菌感染症ですが、世界的にも発症が稀であるために、その病態は不明で信頼できる診断法、治療法もまだ確立されていません。本研究により、侵襲性トリコスポロン症の各国における疫学的な実態が初めて明らかとなり、国際的な共同研究が進むことにより、侵襲性トリコスポロン症の臨床的特徴、予後に関する因子の解明、標準的な診断法、治療法に関するエビデンスの確立につながり、本症に対する治療成績を向上させることができると考えられます。

研究の内容、方法について

この研究は、当院を含む国内の共同研究施設で侵襲性トリコスポロン症と診断され、治療を受けられた患者さんを対象としています。調査内容は侵襲性トリコスポロン症の患者さんの性別、年齢、原疾患名、診断方法、治療の内容、治療の効果です。患者さんの氏名、生年月日、カルテ番号などは使用せず、本研究用に発行したコード番号のみを使用し、患者さんの氏名が外部に漏れることは絶対にありません。調査内容は欧州の臨床真菌学会で国際的に各国から集積されたものと集計され、その成果が学会や学術論文として公表される予定です。この研究に関し、患者さんの新たな費用負担や採血検査などの身体的負担は一切ありません。

この研究の内容および方法は、三重大学倫理審査委員会で厳正な審査の結果承認され、実施について三重大学大学院医学系研究科科長の承認を得ています。ご自分の調査内容をこの研究に使用してほしくないとお考えの患者さん（患者さんが既に死亡されている場合はご遺族の方）は、平成27年12月31日までに下記の連絡先までご連絡をお願い申し上げます。調査内容の使用にあたっては、患者さんおよびご家族に不利益が生じないよう、以下のことを厳守致します。

- 医学研究以外には使用しない。
- 患者さんおよびご家族の氏名は公表しない。個人情報厳密に守秘する。
- 研究結果は学会、研究会、学術論文以外では発表しない。
- 研究への協力の撤回は可能（上記の期限内）であり、それによって患者さんに不利益を及ぼすことはない。

この調査研究の責任者

三重大学医学部附属病院がんセンター准教授 中瀬一則

住所 〒514-8507 三重県津市江戸橋 2-174

TEL 059-231-5296 FAX 059-231-5348